

恒例山行 箱根：金時山

- ◆日程 2019年11月30日(土)
 ◆メンバー L：須田(健)、栗、小林(義)、小山田、前田、今井、小濱、山田(留)
 今、大塚、志村、松田、渡辺(由)、日比野
 ◆天候 晴れ

本日の山行に参加するため日比野会員に連絡した以外は、誰が参加するのかわからないため箱根湯本に行けば誰かがいると思っていたので、早めに来ていたが集合時間になっても知り合いの人は誰も来ず、また宮城野に行きそうな登山者もいない。まさかのまさか登山日を間違えたかと不吉な予感が頭をよぎる。でもまあいいかと久しぶりの外出を楽しむため、とりあえず単独で金時山を目指そうと決めバス停で待機。そこへ日比野会員よりメールが入り小田原からバスで湯本に来るとのことで、久々の参加はいきなり集合場所誤りから始まった。

やがて、小田原駅発のバスが到着、数名の顔なじみが乗車していて一安心。バスは秋の箱根路を快適に走り宮城野着。この先金時山登山口までは、台風の影響により通行止めということで、迂回ルートを回るバスに乗り換える。バスは、箱根美術館やガラスの森美術館などの前を通過するが、私は、金時山と芦ノ湖へ行く道路しか知らないで、知らない路を走るのは旅行気分楽しい。

登山口の金時神社にて、例会山行の参加も6年ぶり？との自己紹介は自分でも感心する。総勢15名の大所帯ながら約10人の会員の方とは、失礼ながらお顔とお名前さえわからずお恥ずかしい限り、誰に話しかけていいのかもわからず単調な山道を黙々と登る。皆さん山の会に長く在籍しているベテランに見えるので、私の方はむしろ山の会の新人のような気分で中々新鮮であった。頂上では高橋さんの苔むした墓石は確認しなかったが、久しぶりに来られた報告と黙祷を行い、ランチタイムは須田会員お手製の豚汁やお酒とおつまみを堪能し、しばし楽しい

時間を過ごした。

今回、久しぶりに例会山行に参加しましたが、皆さんに親切にしていたいただき、初参加のような気持ちになれたのが非常にうれしかった。高橋さんも亡くなられて既に10年の歳月がたち、年に1回は墓石の管理に恒例山行を行うと提案したものの、既に6年間も活動から遠ざかる状況が続いたが、来年からは継続して参加できるように努力したい。

(記：志村)



CT：金時神社 9:40 - 金時山頂上 11:13/12:30 - 金時山登山口-14:35